

9:パフォーマンスモデル～職務分析サーベイ～

見出し	操作手順
	パフォーマンスモデル、職務分析サーベイを用いた作成方法を解説します。
	メニューバー 表示 、2番目の パフォーマンスモデル を選択してください。
	現在、システムに格納されているパフォーマンスモデルの一覧が表示されます。
	左上の 新規 ボタンをクリックします。
	商品の選択 から該当のアセスメントを選択し、作成方法から、 職務分析サーベイ を選択します。
	そして、 続ける ボタンを押します。
モデル名の設定(0:41)	職務分析サーベイの作成にあたって、モデルの 名前 、 詳細 、 ノート に必要な情報を入力します。 ここでは「本部長モデル」と入力してみます。 詳細 と ノート に関しては、必要に応じてご活用ください。
サーベイ回答の追加方法(1:04)	職務分析サーベイの回答入力にあたっては、こちら 追加 ボタンをクリックします。
	サーベイ名には、複数の回答者を想定して、そのサーベイの回答者の名前を入れることも一案です。
	名前を入力し、 OK を押します。
サーベイの回答方法(1:31)	回答の仕方は、その職務自体にフォーカスをし、その職務が機能するために必要なことを、 まれに 、 時々 、 頻繁に という頻度で回答していただきます。
	では、 次へ を押します。
	すると、職務分析サーベイの入力画面に移ります。
	57個の質問に対して、 まれに 1、 時々 2、 頻繁に 3の頻度の入力をしていきます。
	入力が完了しましたら、画面右下、 次へ をクリックします。
	職務分析サーベイが完了しました。
	職務分析サーベイを終了します のボタンをクリックします。

複数名の回答結果からモデルを作成する場合(2:43)	今回は、1名のサーベイ結果を入力しましたが、必要に応じて、追加ボタンにより、複数名のサーベイ結果を入力することも可能です。
	複数のサーベイ結果を入力した場合には、その複数の結果の平均を取った形で、モデルが作成されます。
	今回は、この1名の回答結果をベースにモデルを作成していきたいと思えます。
	では、作成ボタンを押してください。
	すると、サーベイの結果がこのような形でモデルとして表現がされます。
	このモデルで問題がなければ、 有効化して保存 を押します。
有効化したモデルの確認方法(3:26)	実際にこのモデルが格納されているかどうか、 表示のパフォーマンスモデル から確認しましょう。
	ご覧の通り、職務分析サーベイの結果が、ステータスで 有効 なモデルとして格納されていることが確認されました。
	パフォーマンスモデル、職務分析サーベイを用いた作成方法は以上となります。